

正誤表・更新情報

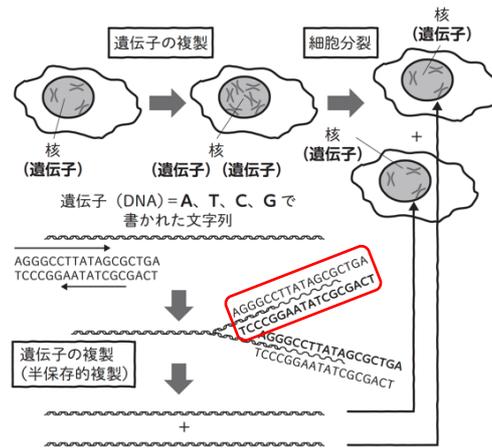
本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2023年6月16日）

■第1版 第1刷（2023年10月10日発行）の修正・更新箇所

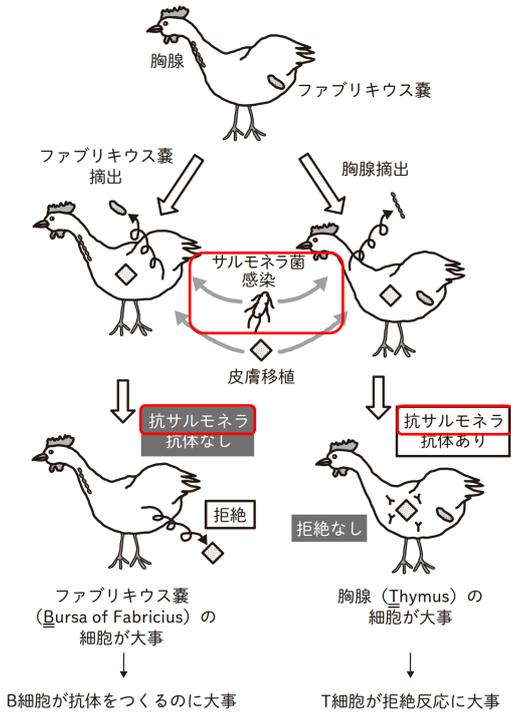
頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
序章 新型コロナウイルスと戦う免疫を知ろう					
13	図序-2			※1参照	23/06/16
14	図序-3	RNA	mRNA		23/06/16
15	後ろから6行目	ンパク質の こと です。…	ンパク質の 総称 です。…		23/06/16
第1章 それは伝染病からはじまった					
59	図1-9			※2参照	23/06/16
第3章 解き明かされた数々の謎					
83	2行目	とはとうてい無理です。 また 、多くの可変領域が…	とはとうてい無理です。 しかも 、多くの可変領域が…		23/06/16
第4章 免疫はものを見分ける					
114	図4-4B			※3参照	23/06/16
118	図4-5キャプション	マウスのT細胞受容体とβ鎖の定常領域に…	マウスのT細胞受容体と その β鎖の定常領域に…		23/06/16
118	後ろから5行目	…第3章でお話しました)	…第3章 96ページ でお話しました)		23/06/16
121	7行目	…マウスに異物 「卵白アルブミン(卵の白身です!) を例に」の投与を…	…マウスに異物 「例えば卵白アルブミン(卵の白身です!) の投与を…		23/06/16
133	4行目	NK細胞はT細胞受容体を…	ところが 、NK細胞はT細胞受容体を…		23/06/16
第5章 自分が自分とわかる仕掛け					
151	6行目	スIIをもっています)。…	スIIをもっています。 皮膚や消化管の上皮細胞もγ型インターフェロンが作用するとMHCクラスIIを表面にもつようになりますが、胸腺の上皮細胞は常にMHCクラスIIをもっています)。…		23/06/16
157	図5-7			※4参照	23/06/16
第6章 免疫の登場人物とその履歴					
166	後ろから6行目	…感染の拡大を抑え込みます(図6-2④)。また、血管の透過性を上げて単球や好中球が感染している場所へ到達しやすくなるだけでなく、血液中の液性成分を浸み出させる効果もあります。…	…感染の拡大を抑え込みます。また、血管の透過性を上げて単球や好中球が感染している場所へ到達しやすくなるだけでなく、血液中の液性成分を浸み出させる効果もあります(図6-2④)。…	※図6-2④の参照箇所を移動しました	23/06/16
167	図6-2			※5参照	23/06/16
177	図6-6			※6参照	23/06/16
178	後ろから2行目	(図6-7、実は図4- 8 の実験でも…	(図6-7、実は図4- 7 の実験でも…		23/06/16
191	図6-12			※7参照	23/06/16
214	後ろから3行目	(Innate Lymphoid Cell:ILC)…	(Innate Lymphoid Cell:ILC)…		23/06/16
第7章 病気と免疫					
247	3行目	はお話してきた通りです。…	はお話してきた通りです(第3章2)。…		23/06/16
264	6行目	…白人のなかにはHIVに 感染しても 全く発症しない人がいます。…	…白人のなかにはHIVに 暴露されても 全く発症しない人がいます。…		23/06/16
さくいん					
286	左段の2行目	Innate Lymphoid Cell	Innate Lymphoid Cell		23/06/16

図表

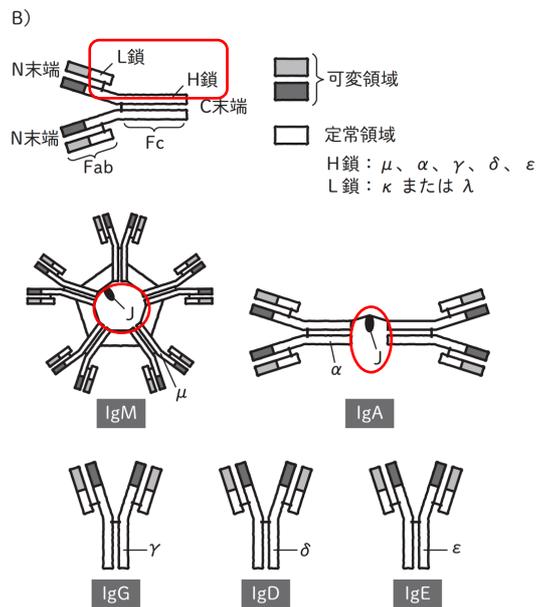
※1 図序-2 赤色で囲んだ部分を修正いたしました



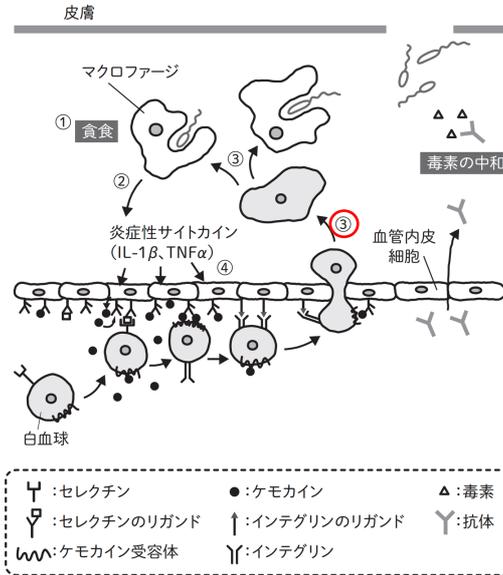
※2 図1-9 赤色で囲んだ部分を追記いたしました



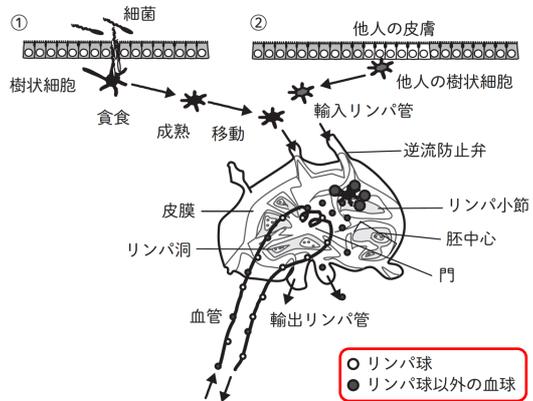
※3 図4-4B 赤色で囲んだ部分を修正いたしました



※5 図6-2 赤色で囲んだ部分を追記いたしました



※6 図6-6 赤色で囲んだ部分を追記いたしました



※7 図6-12 赤色で囲んだ部分を追記いたしました

